

「カタバミの教材性(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

カタバミという雑草がある。葉の配列が3枚一組で、シロツメクサに似ているので、子どもたちは「クローバーだ」と言う。しかしシロツメクサの葉は、周縁部が円形、カタバミはハート形である。「一見似たような植物でも、よく観察すると、特徴がちがう。」ということを知るには、いい教材だと思う。



「カタバミの葉」 クローバーとちがってハート型。



「カタバミの花」 合弁花、花弁5枚。匂い希薄。小さいが、いくらでも咲いているので、ルーペで観察させるには非常にいい対象である。



カタバミは都会でもごく普通の雑草である。日当たりのいい草地を好むが、この写真のようなちょっとした植え込みにもよく見られる。春には、小さな黄色い花をつけるので、よく目立つ。

カタバミの最大の特徴は、その繁殖力の強さである。一度根づくと、簡単には根絶やしできない。その理由は、何通りかの繁殖方法を持っていることにあるようだ。このことが、カタバミの教材としての価値を高めていると言える。詳しくは次号以降で紹介したい。